

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
盛岡ひまわり学園		7年 3月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		今年度保育所等訪問は1名の利用でしたが、実際に訪問する職員は3名の配置となっています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		毎月のクラス長会議で話をし、その後クラス間で共有しています。	職員全員で定期的に話し合う機会を設ける必要があります。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者の意向に関しては、関係する職員で共有しています。	今回の公表をもとに、職員間で意見交換する機会を持ち改善につなげていきたいと思っています。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		4～5年に1度岩手県福祉サービス第三者評価を受診しており、その結果を職員間で共有し業務改善につなげています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	年間計画に沿って、また、必要に応じて研修への参加を促しています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		アセスメントを通して保育園や幼稚園等での課題を抽出し、保護者と話し合って計画を作成しています。	アセスメントの様式に関しては、今後も検討していく必要があると思っています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		自発管、担当職員とでアセスメントをもとに検討したうえで作成しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		訪問先のクラス担任から丁寧に聞き取りをし意向などを確認したうえで作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		目標内容と支援の状況を確認しながら、訪問回数や日程等を調整しています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			必要に応じて発達検査なども行いながら、行動観察を含めたアセスメントを通してより具体的な支援につなげていきたいと思っています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		対象児童に応じた目標を設定し、達成できるように段階を踏んだり具体的な表現で取り組みやすい内容で設定しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		目標内容と支援の状況を確認しながら、訪問回数や日程等を調整しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		打ち合わせは行っていないですが、毎回、訪問時の様子について共有し、達成状況や次回以降の課題等についても話をしています。	積み重ねが大切になってくると思いますので、その都度振り返りを行い、今後につなげていきたいと思っています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		訪問する園の支援方法を尊重しつつ、その中で取り組める事を訪問園に確認したり、工夫できそうな部分を一緒に考えながら提示するようにしています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		訪問後既定の様式に訪問時の様子や課題等について記載し、次回の訪問に向けて検討しています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		必要に応じてモニタリングを行い、見直しをしながら目標設定をしています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		訪問職員と必要に応じて児発管が参加し、情報を共有しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて、連携をとる体制を整えています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		講師を招いての内部研修で助言を受けたり、外部研修にも積極的に参加するよう促しています。	研修への参加だけではなく、普段の支援を通して職員同士で意見を言い合える関係を築きながら、個々の職員の質の向上に努めています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	自立支援協議会へは定期的に参加しています。その他の会議へも可能な限り参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		電話で様子を伝えたり、必要に応じて家庭を訪問するなどしながら状況を報告しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	ベアトレに基づくアドバイスや情報提供を行っています。十分とは言えない状況です。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っていますし、わからない点に関してはいつでも聞いていただくように話しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		事前に説明し、目的等を理解していただいたうえで訪問しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		アセスメントをする中で保護者の願いを確認し、それに基づいて支援計画を作成しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		家庭を訪問するなどして保育所等訪問支援計画の内容について説明し、同意を得たうえで実施しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		定期的ではありませんが、悩み等には耳を傾け、その都度相談に応じたり一緒に考えています。	保護者と職員との間で、話しやすい関係を作っていきたいと思います。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4		コロナ禍を境に以前行われていた交流の機会が行われなくなっている実態がありますが、少しずつ以前の状態に戻ってきつつあります。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		保育所等訪問に関しては、HPに掲載したり、相談支援専門員から情報を発信してもらうなどしています。	HP以外でも必要としている保護者に発信できる術を検討していきたいと思います。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		写真等の掲載に関しては文書等で保護者から確認を取っています。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		担当職員又は児発管が窓口になり、相談等には随時対応しています。	訪問時以外でも連携を取りながら、困り事、悩み事等に耳を傾け、適切なアドバイスを行ってきたいと考えています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		振り返りや次回までに取り組んで欲しいことなどを話し合う時間を設けています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		毎回訪問時の様子を記録し、支援内容や状況、課題等を報告しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		運営規定の中で定めている個人情報の保護に関する規定に基づき対応しています。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		担当職員又は児発管が窓口になり、相談等には随時対応しています。	今後もより専門的な立場からアドバイスができるように、経験や知識を深めていきたいと思います。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルに基づいた訓練を定期的に行っています。感染症に関しては、外部講師を招いての研修を行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		終礼などで状況について報告し今後の対応について検討しています。	システムの記録機能を活用し、分析を行いながら再発防止につなげていく必要があります。ヒヤリハットなのかインシデントなのかを考えながら検討していきたいと思います。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		毎年虐待に関した園内研修を行うとともに、どのような行為が虐待につながるのかを会議などで投げかけ、職員一人一人が意識できるように働きかけています。	気持ちにゆるみが生じないよう定期的に問題提起をし、考える機会を作っていきたいと思います。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			